オフィス家具 共同開発を開始

コクヨとChop Value Japan

使用済み割り箸リサイクル

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、カナダの企業であるChopValue Manufacturing Japan株式会社（東京都）と、使用済み割り箸をリサイクルした内装材を用いたオフィス家具の開発や検証を開始した。

近年、企業におけるサステナビリティへの取り組みの重要性が高まる中、オフィス家具においても環境配慮型製品への需要が高まっている。コクヨはマテリアリティ目標として2030年までにコクヨグループ（海外含む）が取り扱う循環型商品の売上高を80％以上とすることを掲げており、この取り組みはその一環となる。

ChopValue Japanは、使用済みの割り箸をリサイクルし、板状の素材に加工して家具や内装材を製造する循環型ビジネスモデルを展開し、2024年11月より川崎市内に同社の日本初の工場を稼働させている。

今回、両社の技術と知見を活かし、使用済み割り箸を活用した内装材を用いたオフィス家具の開発や検証などを行い、日本のオフィス市場に適した循環型商品の開発を進めていく。

第1弾の試作品家具

今回の取り組みにあたり、コクヨの働き方の実験場である「THE CAMPUS」では、使用済み割り箸が施設内でどの程度破棄されているかの計測を開始。2025年3月の実験では、1日あたり約2600本が破棄されており、約30日間で天板1枚分に相当する量であることが確認。自社オフィスで排出される使用済み割り箸を実際に回収し、オフィスでの資源循環の実例を示すことで、自社社員を中心に環境意識の啓発と行動変容の促進を図る。

今後の展望についてコクヨは、割り箸以外の廃材を活用した新素材の開発など、サステナブルな製品の可能性を広げ、環境性能と実用性を両立した環境配慮型の商品ラインアップの拡充を目指していくという。

国際デザインコンペを開催

また同社は、デジタルファブリケーション技術によって建築と家具の領域を横断する、国際デザインコンペティション「Digi Fab Award 2025 by KOKUYO×VUILD」を開催、6月1日～7月31日まで、作品を募集する。

作品のテーマは「Personal and Public」。目にするもの。肌に感じる風や光。ともにいる存在。物事との出会い。「私」は常に、さまざまなものと関わり、変わり続けている。その「私」を豊かに味わうPersonalと、新たな関わりが芽生えるPublic。関わりを生む可能性を秘めつつ、一人であることも可能にする領域は、どのようにデザインできるだろうか。「Personal」と「Public」のあいだを生み出すデザインを募集。

募集対象は、公共空間に設置される、建築と家具の領域を横断するデザイン。建築のように空間をかたちづくり、家具のように人のふるまいや感覚に寄り添うような提案。

賞は、グランプリ（1点、ヨーロッパ文化センターPalazzo Mora及び、コクヨオフィスTHE CAMPUSに展示）、優秀賞（最大2点）、佳作（最大5点）の各賞を用意。

大賞受賞者には商品券3万円分に加え、自身の作品がプリントされたまくら、そのほかの受賞者には商品券5千円分と自身の作品がプリントされたタオルを贈呈する。また、応募者全ての作品は、審査後に「NuRIE大賞」公式サイトや関連サイト、SNS等に掲載する予定。

応募は、年齢制限なく1人で仕上げた作品でも複数人で仕上げた作品でも可能。

応募は、「NuRIE大賞」公式サイト応募フォーム（https://maruai.co.jp/nurie/award/inputform.php）から。

Instagramからの応募は、「NuRIE」アカウント（https://www.instagram.com/nurie_official/）の投稿を確認する。

対象商品は、NuRIEシリーズ全アイテム（NuRIEmaki、NuRIEori、NuRIEroll、NuRIEbook）。

画材は自由で、大賞（1組）に商品券3万円分＋作品をプリントしたまくら。そのほか各賞（数組）に商品券5千円分＋作品をプリントしたタオルを進呈する。

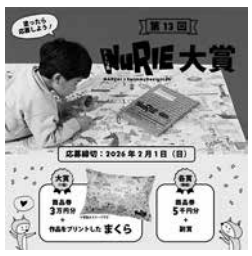
発表は、2026年3月以降「NuRIE大賞」公式サイトで行う。

コンテストおよび応募に関する詳細は、「NuRIE大賞」公式サイト（https://maruai.co.jp/nurie/award/）まで。

「ヌーリエ大賞」開催

マルアイ オリジナル作品を募集

株式会社マルアイ（村松道哉社長、山梨県市川三郷町）は、家族や友達と楽しめる「ぬりえのコンテスト」第13回「NuRIE（ヌーリエ）大賞」を開催するが、「NuRIE」の作品を自由に仕上げたオリジナルの作品を4月10日～2026年2月1日まで募集している。



コンテスト作品募集の告知

11月15日（いいインコ）は「いいインコの日」
sedia
since 1932
www.sedia.co.jp

同大賞は、「NuRIE」の作品を募集し、優秀作品を選出するコンテスト。「NuRIE」が誕生した2014年に初開催し、今回で13回目を迎える。これまでに1歳～100歳の人が参加し、応募総点数は約350点にのぼる。

千葉市科学館で文房具の企画展

【日本文具新聞社発】文房具がテーマの企画展「文房具大解剖！」（文具王・高畑正幸氏監修）が3月20日から5月6日まで、千葉市科学館で開催。思わず誰かに伝えたくなるような文房具にまつわる画期的なアイデアや技術が紹介されている。

展示コーナーは、①「文房具大解剖！」紙やペンにはどのような違いがあるのでしょうか？比べてみましょう②「文房具ってなんだ？」文房具はいつからあるのでしょうか？ボールペンの前は何を使っていたのでしょう？③「変わり続ける文房具」やる気のでるペン、水で書く習字、バナナで作る紙④「わたしの文房具」研究者や建築士、科学イラストレーターはどんな文房具を使っているのでしょう？⑤「文房具アート」ペーパークイリングや消しゴムはんこなど、文房具を使ったアート作品が勢ぞろい！などの構成で、文具メーカー約40社の文房具約120点の展示とパネルや動画による解説も行った。

企画展の展示コーナー

展示に加えて、三菱鉛筆の「Hi－uni アートセット」を使った鉛筆の硬度（10B～10H）書き比べ、水性・油性・エマルジョン・ゲルなど異なるインクでの試し書き、水で書く習字の体験などの実際に試せるコーナーも設置。

そのほか、ライブドローイングのショーやワークショップ、体験講座など、多彩な企画が用意され、多くの来館者を楽しませている。

浅草花屋敷でイベント開催

サクラクレパス

株式会社サクラクレパス（西村彦四郎社長、大阪市）は、クレパス発売100周年を記念した施策の1つとして「おえかき遊園地～浅草花やしき×クレパス～」を5月2日～6月2日まで開催している。

同イベントは第1弾～第3弾に分けて開催し、5月2日からの第1弾は、「巨大かべおえかき」スペースとみんなでサクラの花に色を付ける「サクラぬりえ」。5月9日からの第2弾は、園内を回りながらぬりえを完成させる「ぬりえラリー」、イベント限定デザインのクレパスが手に入るマルハナ縁日。5月23日からの第3弾は、ローラーコースターの茶の間がクレパス仕様になるなど、期間中にさまざまなコンテンツを用意している。

タッチ＆フローバイヤーが厳選

みらいの郵便局

3月19日にリニューアルオープンした、みらいの郵便局プロジェクトによる店舗「SOZO BOX（ソウゾウボックス）」の人気オリジナルコンテンツ「ラッピングBAR」に、株式会社デザインフィル（会田一郎社長、東京都）が運営する大人感性のステーショナリーショップ「TOUCH＆FLOW」のバイヤーがセレクトした、150種以上の想いを添えるメッセージアイテムとシーリングスタンプのコーナーが新設された。

シーリングスタンプやメッセージツールをセレクト

「ラッピングBAR」内に新設されたコーナーには、TOUCH＆FLOWのバイヤーがセレクトした、贈りものにメッセージを添える付箋やスタンプ、シールなどのツールを展開。また、今回、拡充したシーリングスタンプのコーナーには、シーリングワックス40種、シーリングスタンプ台約40種、シーリングスタンプに添えるドライフラワーなどのデコレーションアイテムを揃える。

「ソウゾウボックス」は、JR東日本グループと日本郵政グループが締結した「社会課題の解決に向けた連携強化に関する協定」に基づく取り組みの一つとして、昨年2月に東京・秋葉原にオープンした店舗で、「〝贈る〟を楽しもう」をコンセプトに、家族、友人、同僚など、誰かを想い、その想いをさまざまな形で贈る体験を提供している。

万博で日本酒「雅風」アピール

○…セキセイ

4月13日に開幕した大阪・関西万博に出店している、まねき食品の未来型レストラン〝MANEKI FUTURE STUDIO JAPAN〟に、セキセイ株式会社（西川雅夫会長）の日本酒「雅風」が並び、揃いの法被を着てセキセイ社員が来場者にアピールした。

まねき食品のレストランで

万博開幕日には、レストランで話題の究極の駅そばを全員で賞味し、西川雅夫氏こと東山雅風が、葛飾北斎の紅富士と白富士を創作した日本酒「雅風」で乾杯。

まねき食品の竹田社長と大阪・関西万博の成功を互いに誓い合い、日本酒「雅風」は好調なスタートを切った。

ホビーショーに10万超える来場

一般社団法人日本ホビー協会は、4月17～19日、東京ビッグサイトで、「第49回2025日本ホビーショー」を開催、10万315人の来場で賑わった。

業界関連では、シヤチハタ、ヤマトが出展した。

小学生のためのお仕事ノート

名古屋市・銀鳥産業の取り組みを紹介

銀鳥産業株式会社（西村友秀社長、名古屋市）が、名古屋市内の小学校で配布されているキャリア学習教材「小学生のためのお仕事ノート　名古屋市版」に、同社の取り組みが紹介された。

同ノートは、名古屋市で働くさまざまな職業人の姿を通して、子どもたちが地域の産業や社会との関わりについて学び、自らの将来について考えることを目的とした副教材で、同社が地域に根ざした企業の一例として取材を受け、仕事内容や思いを紹介している。

お仕事ノート

三菱鉛筆役員

三菱鉛筆株式会社は、3月27日開催の定時株主総会並びに取締役会で、次の通り新役員を選任した。（敬称略）

代表取締役会長　数原英一郎
代表取締役社長　数原滋彦（新規事業担当内部監査担当）
取締役専務取締役執行役員　切田和久（技術統括兼全社品質担当兼サスティナビリティ担当）
取締役常務執行役員　鈴木孝雄（人事部担当兼システム担当兼法務担当）、山村伸夫（国内営業担当兼商品開発担当）
取締役　青山藤詞郎（社外）、斉藤麻子、嶋本正、本坊吉博・新
常勤監査役　村上恵美、小川浩央
監査役（社外）　梶川融、鈴木嘉明・新
上席執行役員　長谷川直人（財務担当）、手島修（海外営業部長）、蛇川寿史（経営企画担当）、小宮基裕（化粧品事業担当）、早尾栄（サスティナビリティ推進室長）、平野功一（生産担当兼全社生産技術担当）、萩原康明（技術担当兼知的財産担当兼産業資材担当）、市川秀寿（研究開発フェロー）、武藤広行（生産統括部長）新、齋藤茂樹（総務担当兼法務部長）新
副会長　数原徹郎

三菱鉛筆関西販売役員

三菱鉛筆関西販売株式会社は、3月27日開催の株主総会並びに取締役会で、次の通り役員を選任した。（敬称略）

代表取締役社長　丸田直人
取締役　谷口政和、谷邨貴宏、数原滋彦、山村伸夫
監査役　長谷川直人・新

パイロット役員

株式会社パイロットコーポレーションは、3月28日開催の第23期定時株主総会及び同日開催の取締役会で、次の通り役員を選任した。（敬称略）

【取締役】
代表取締役社長　藤崎文男
代表取締役　小平岳志・昇任
取締役　横山和彦、畑野且次
社外取締役　村松昌信、柴田美鈴、河野弘・新
【監査委員取締役】
取締役　雑村吉浩（常勤監査等委員）
社外取締役（監査等委員）　神山敏蔵、藤田嗣潔
【執行役員】
社長執行役員　藤崎文男
専務執行役員　小平岳志・昇任
上席執行役員　横山和彦、畑野且次、和田好夫、小池智夫・昇任、千賀邦之・新
執行役員　横井秀雄、北條純一、小城真志保、湖雅行、宰務伸也、木川俊幸、長谷川淳、寺田治信、川島俊二・新

なお、代表取締役・白川正和氏、取締役・伊藤秀氏、社外取締役・升田晋造氏は退任。また、取締役・荒木敏男氏は、3月21日にパイロットインキ株式会社取締役会長に、3月28日にパイロットコーポレーション顧問に就任し、同社取締役を退任した。